

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	理念に基づいて、笑顔での対応を心掛け、ご家族様へ感謝を忘れず対応することが出来ている。新人スタッフにも、理念に基づいた、介護の指針を説明・指導し実践できている。			ケア内容は入居者様の日々の状況により都度変化していく為、臨機応変な対応が必要不可欠となっている。理念に基づいたケアの方向性をユニットでそれぞれ統一出来るようになってきており、次年度も継続した目標としたい。
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	町内会へ声をかけ、施設行事への参加協力していただき、地域との交流をはかることが出来ている。今年はコロナ感染のため、町の夏祭りへの参加を見送った。町内会のお祭りも中止となつたため交流の機会が減ってしまい残念であった	・町内会と事業所は運営委員を介して常に情報の共有が図られ良好な状況にある。 ・地域との交流を途ざない取り組みを続けて頂きたい。 ・その時の状況に合わせて計画を立て対応出来ている。 ・町内会も高齢化が進み以前に比べて活動が少なくなっているが、施設行事への参加が出来るのは嬉しい		町内会の協力により施設行事へ度々参加して頂き地域交流を行う事が出来たが、施設外での地域交流の機会は少なかったため、次年度の目標として掲げ、積極的に交流の場を増やして行きたい。
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	2ヵ月おきに開催継続しており、活動状況・入居者様の状態・ヒヤリハットについての報告と話し合いを行い、意見やアドバイスを頂きサービス向上に努めている。議事録作成し、ご家族様へ郵送し意見等をいただいている。	・推進会議において、話し合った内容はすぐに職員に伝達・情報共有されており、サービス向上に繋がっている。 ・推進会議での事故等の報告・対応を詳細に説明されており利用者家族含め、安心の度合いを高く評価している。 ・定期的に開催されており、ご家族様の意見によ		運営推進会議での内容は職員へ共有して活かし、サービスの質を向上出来るよう努めている。次年度も引き続き情報共有を行い、入居者様・ご家族様に安心感・満足感を感じて頂けるよう、ケア・サービスの向上を目指したい。
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議や地域包括ケア会議、ホーム長対応での役場への訪問・市町村担当者との積極的な情報交換を行い、良好な協力関係を築いている。	・行政や包括支援センターと情報交換・協力関係が築けている。 ・ケア会議へ積極的に参加され、情報共有する事が出来ている。		ホーム長を中心に地域包括ケアや会議への出席、包括支援センターや行政等との情報共有を行っている。今後もこまめに情報共有を行い、良好な関係を築いて行きたい。
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束委員会が中心となり、定期的に職員全員で勉強会を行っている。入居者様個々の状態に添った意思確認や思いを尊重する事を大切にしながら、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的な勉強会の実施と身体拘束委員会の活動により、今年度も身体拘束対象者無しで経過している。今後も委員会を中心として、身体拘束をしないケアに取り組んで行く。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	虐待防止委員会を設置し、会議開催と年3回の勉強会及び、外部の研修会への参加を行っている。職員一人一人が常に虐待について意識し、日々のケアに該当することはないか考え、ケアに努めている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	何気ない行動や言動が虐待となっていかないかを理解し、気づけるよう、虐待防止委員会が中心となり、勉強会や話し合い、すぐに目に付く場所への資料や啓発ポスターの掲示等で、日々意識付けを行っている。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所時にホーム長対応にて制度の有無確認をし都度スタッフへ制度について説明しているが、定期的な勉強会等は行っていない。今回、制度利用される入居者様がいるため、関係者と話し合いながら制度についての理解を深め、活用出来るように努めている。			成年後見制度の資料を作成し職員へ配布しているが、昨年まで制度を利用している入居者様がおらず本格的に学ぶ機会は設けていなかったが、この度、制度を利用し始めた入居者様がいるため、より具体的に理解を深め制度を活用する支援が出来るようになる事を目標としたい。
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ホーム長対応にて、入居前に口頭・書面で十分な説明を行い、理解・納得された上で契約を交わしている。また、変更時には迅速に連絡し再度説明を行っている。			契約時には、不安や疑問への理解・納得を得られるよう、十分な説明を行っている。入居後に変更する事柄もあるため都度説明を行い、納得した上で契約を交わして頂けるよう、今後も真摯に対応して行きたい。

9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	声掛けにより、入居者様の意思を汲み取り、ご家族様からも、面会時に都度話しをする機会を設け、意見を反映させている。定期的にご家族様へアンケートを実施し、普段話しづらい事も言える機会を作っている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	アンケートや面会などから、ご家族様の要望を受け入れ、入居者様からも普段の生活から意思や要望を汲み取り、反映していくようしている。今後も些細なことでも反映出来るよう情報共有に努めて行きたい。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日常的な会話の中や、毎月の全体会議等で、職員からの意見を聴取し、運営に関する説明を十分行い対応に努めている。また、上層部へ反映できないような意見であっても適切にせず対応に努めている。		職員からの意見を汲み取れるよう、毎月意見交換の場を設けている。日々のコミュニケーションの中からも汲み取っており、真摯に意見を聞き、改善・解決出来るという姿勢を忘れず信頼関係の構築に努めたい。
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働くよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員個々の意見・希望を取り入れ、業務改善・労働時間の調整等行っている。職員一人一人がやりがいと向上心を持って働くよう、施設内外の研修会・勉強会などへ参加出来る体制が整っている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の業務内容を把握し、勤務時間内で終えられるよう調整している。業務改善から細かな疑問や相談等を重ね、働きやすい環境作りを提供出来るように努めており、今後も些細な事でも真摯に対応し、働き方改革に努めていく。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設内での研修、外部の研修、オンライン研修へ積極的に参加できる体制を整えており、自身が研修資料を作成する場を設け、聞くだけでなく、実際に調べながら作成するようにし、より学べるようにしている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	外部研修やオンライン研修へ積極的に参加の機会を設け、知識の向上に繋がっている。施設内での研修も職員自身が調べて資料を作成する事で自己研鑽となっているため、継続してスキル向上に努めて行きたい。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	意見交換・情報共有を行いサービスの質の向上に努めており、また定期的に開催される地域包括ケア会議へも出席し情報交換にも努めている。協力医療機関えとう森町クリニックの協力により、感染等の研修も実践を交え実施できている		協力医療機関(えとう森町クリニック)の医師や看護師と連携を図り、サービスの向上を行えており、地域包括ケア会議への参加や他事業所との入退去の連絡調整を密に行っている。今後も意見交換・情報共有を行い、サービスの質の向上に努めて行きたい。
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者様のADLから出来る限りの家事手伝いを行って頂いている。しかし体調や精神的なところから出来ない時期が出てくるが、スタッフ同士情報の共有を行い、その時に出来る事を探し、支え合える関係作りを行っている。		入居者様の精神面・体調面の状態により、日々手伝える内容が変わってくるが、その時の状態に合った手伝いが出来るよう、普段の様子から判断し臨機応変に対応出来るよう努めている。今後も個々の状態をしっかりと把握し、残存機能を活かすケアを提供していく。
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	行事レクに町内会やボランティアの方々を積極的に招待することにより、馴染みの人との交流をはかることに繋がっており、ふれあいサロンの参加からもより一層関係づくりが出来ている。	・地域資源であるボランティア団体やふれあいサロンとの交流が密であり、良好な関係性が構築されている。 ・行事レク等、馴染みの人との交流により関係づくりが充分に出来ている。 ・居室には馴染みある物を持込み、以前と変わらない環境作りが出来ており、サービスが行き	ボランティアの方との交流、ふれあいサロンへの参加、面会時の家族との交流などで良好な関係性を築けている。地域密着型として、今後も地域との関わりや馴染みの関係を築いていけるよう努めて行きたい。

II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の会話から本人の希望を把握し、出来る限りではあるが、提供できている。コミュニケーション困難な方も、普段の行動を観察し、生活リズム・暮らし方を把握するよう努めている。			全ての意向に添う事は難しいが、施設生活で出来る範囲で可能な限り希望に添えるよう努めている。会議や普段の情報共有などから、一人ひとりの思いや生活スタイルを知り、その人らしく暮らしていくようなサービスを提供して行く。
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それへの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護計画は半年ごとに見直し、モニタリングは3ヶ月ごとに行っている。担当職員は入居者様の日々の様子を的確に記載し、計画作成の際は本人の意向はもとより、ご家族様の要望も反映させている。食事形態や排泄対応等、その時の入居様の状態に合わせた介護計画を作成している。	・入居者の幸福度に直結した、きめ細やかな介護計画を作成・実行しており、入居者の様子からその成果が見て取れる。 ・実地指導の際にケアマネジメントサイクルの一環を確認し、その人らしい内容の計画となっていた。 ・利用者、家族の要望を反映した介護計画の作成を今後も続けていただきたい。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	担当職員を中心に、本人の日々の様子からモニタリング・アセスメントを行い、ご家族様からの要望にも添ったサービス内容を提供する事に努めている。今後も認知症状や病状により変化していく為、都度その時の状況を確認しながらより良いサービスへ繋げて行きたい。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日の状況を記録しており、普段とは違う様子等は、申し送りや連絡ノートを活用し職員間での情報共有を行い、介護計画への見直しに活かしている。毎月の会議内でも職員それぞれの意見や対策を取り入れ、実践へと繋げている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の様子を記録する介護記録、食事量やバイタル管理の温度版など毎日記録し、入居者様一人ひとりに関する職員間の連絡ノートで情報交換・共有を行い、介護計画へ繋げている。今後も定期的に見直しを図り、入居者様・ご家族様が安心して過ごせるよう取り組んで行く。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族様からの要望や入居者様の要望もその時々の状況により変わってくるが、都度、話し合いを行い、既存のサービスから変化し対応できており、柔軟なサービスの提供ができている。	・柔軟なサービスを今後も提供して欲しい ・「温もりの家便り」により入居者の行動が写真を通して確認でき、家族の安心度を高めている。 ・ケアプランもその人らしい計画となっており、状態の変化後もすぐに変更対応し、サービス提供出来ていた。		入居者様やご家族様からの要望には、出来る限り柔軟に対応できるようにしている。マニュアルに添いつつ臨機応変に変化をつけられるよう、創意工夫しながらサービスの提供をして行きたい。
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設行事には、社会福祉協議会や町内会の協力を仰ぎ、入居者様との触れ合える機会を設けている。町内在住の方の歌謡ショーや夏祭りには放課後デイサービス(あおぞら・こまがたけ)の子供達が歌や手作りの品をプレゼントしてくれたりと、交流の幅が広がっている。今年度は「ふれあいサロン」にも積極的に参加し、地域資源で楽	・町内会や地域との繋がりを大事にしており、積極的に交流が出来ている。 ・「ふれあいサロン」や行事を通して入居者と一般市民との触れ合いの場の活用が事業所のグレードを高めている。 ・地域資源で楽しむ事が出来ており、今後も安全で豊かな暮らしを支援して頂きたい。		施設行事には町内会や社会福祉協議会、、放課後デイサービス一般市民の方等の協力により、前年度以上の交流を持つ事が出来た。今年度は「ふれあいサロン」にも積極的に参加する事が出来ており、次年度も継続して行くことで、地域資源を楽しみながら一層交流を深めていく事を大切にして行きたい。
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	協力医療機関、えどう森町クリニック担当医師にはほぼ毎日のように来所して頂いている。24時間対応となっているため医師へすぐに連絡を取れる状態になっており、緊急時にも連携を取り対応している。看護師の協力もあり、さらに良い環境となっている。			協力医療機関の協力によって迅速な医療の提供が行えており、医療行為の内容によっては定期的に医師からご家族様へ説明して下さっている。今後も協力関係を築きながら、適切な医療が受けられるよう支援して行きたい。
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ホーム長を中心に、医師・看護師・ケースワーカー等のスタッフとの連絡を密にし、入居者様の現在の状態を互いに把握している。入居者様に何かあった場合でもすぐに対応して頂けるよう、日頃から些細なことでも話し合いが出来る関係性を継続していくよう努めている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	協力医療機関えとう森町クリニックにより、施設内である程度の治療対応が出来ている。入院等が必要な時も、医師の協力のもとスムーズな入院対応が出来るよう態勢が整っており、今後も良好な関係作りを行って行きたい。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	えどう森町クリニックの協力により、看取り介護を実施している。入所時や状態変化時にホーム長よりご家族様へ施設で行える対応の説明と、医師からは現在の状態・今後の方向性について説明を行っている。看取り開始となった際には、医師への報告・連絡・相談を密にし、全職員で支援に努めている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	看取り対応を行う場合には、職員間での話し合いはもちろんのこと、ご家族様の思いを聞き、気持ちに寄り添い、医師との相談も充分に行なったうえで実施・提供出来ている。看取り開始後も医師へこまめに報告を行い、状態変化時には迅速にご家族様へ連絡するよう努めている。今後もご家族様との信頼関係を築き入念な話し合いを重ね、納得のいく看取りケアに繋げらるよう取り組んで行きたい。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	マニュアルの作成・緊急連絡先や対応の方法などを事務所に掲示し、定期的に勉強会や研修会を行い急変時の対応に備え、実際に対応する時に焦りや困惑しないように努めている。			急変事例は中々ないが、日々想定して業務に携わっている。マニュアルや資料等を目に入れる場所へ掲示し備えているが、実際に対応する時には必ず焦りが生じるため、冷静な判断と対応が出来るよう、定期的に研修等を開催して行きたい。
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年2回、所轄の消防署・設備会社と連携し避難訓練を行っている。災害時の対応マニュアルの作成・非常食のストック管理等、緊急時にスムーズに対応できるよう体制を整えている。	・事業所の立地条件から想定される災害について、所轄の消防署の指導のもと、常に避難訓練を行って欲しい。 ・様々な災害を想定し、しっかりと緊急時対応が出来ている。 ・年2回の訓練により、職員もスムーズに対応出来るようになるので継続して欲しい。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	火災訓練では、夜勤帯・日勤帯それぞれを想定した訓練を行い、避難誘導者・避難者・応援職員等、色々な立場を経験出来るよう役割変更し実施している。また合わせて非常災害時訓練も実施しており、定期的に非常食の管理も行い、災害緊急時の対応に備える事が出来ている。

III. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員間で常に話し合いを重ね、その人らしさを失う事なく過ごせるように努めている。マイナスと受け取れる行動・言動に対しても、尊厳とプライバシーを損ねる事がないよう、対応に工夫している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	スタッフ同士、日々互いの業務を確認・振り返りながら、声掛けの方法や言葉選び等の工夫や配慮を行っている。プライバシーの配慮はもとより、尊厳を持った言葉掛けを常に心掛け対応しており、今後も継続していく。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設生活の中で制限はあるが、日々の生活の中で言動等を観察し、希望にそえるよう工夫しているが、出来ない事も多い為、職員間で話し合いをし、少しでも代替えできることはないか日々話し合いを行っている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	無理強いはしないよう声掛けを行い、施設生活を本人のベースで送れるよう支援している。状態により声掛けの内容の理解が難しい時は、返答しやすいよう声掛けの仕方を工夫してみたりと対応している。
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の状態に合わせ、食事形態を変更したりと、自身の力で食事を楽しんで摂れるように努めている。また、食器の後片付けも職員と協力しながら行っている。毎月の行事には食に関する事も取り入れ、食事への楽しみを提供している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の能力に合わせ、準備や片付けを役割分担し提供しており、行事やレクでも職員と一緒に準備や調理を楽しむ事が出来ている。今後も入居者様の力を活かしながら倒しみを提供していきたい。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食時の摂取量を記録し職員間で共有している。摂取時の状態観察も行い、個々の状態に合わせて無理なく適切な量や栄養バランスが維持できるよう、臨機応変に対応している。体重減少等の問題がある際にはすぐに医師へ相談し、栄養補助飲料を処方してもらう等、指示を頂いている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食の食事・水分摂取量と毎月の体重測定から、栄養状態・体重の増減等の観察・把握を行っている。特変時には医師・看護師へ報告し、栄養補助飲料や点滴の実施など早期対応出来ており、今後も継続していく。
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食後、促しや見守り・一部介助、全介助にて洗浄・清拭を行ったりと、個々の口腔状態や能力に合わせた対応を行っている。必要時には歯科往診を依頼し、口腔内の清潔維持に努めている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりに合わせたケアが出来るよう職員間で情報共有し、残存機能を活かした口腔ケアを実施している。今後は口腔内の清潔保持のほか、予防対策にも力を入れて取り組みたい。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排泄表を活用し個々の排泄間隔を把握する事で、適時なトイレ誘導や声掛けを行っている。また、夜間はオムツを使用だが、日中は布パンツやリハビリパンツへ変更し自発的にトイレで排泄が出来るよう支援している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日頃からオムツ使用者の評価を行っており、個々の排泄量やリズムに合わせ、昼夜でパット類の使い分けをしたり、出来るだけトイレで排泄できるよう対応したりと、オムツの適正使用と排泄の自立が出来るよう心掛けケアにあたっている。頓服下剤での調整も行いながら便秘予防に努め、必要時には医師や看護師から指示を頂く。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者様によって、入浴順番の希望が違うため、希望に沿った順番で行っている。仲の良い入居者様同士と一緒にいれることによって、会話をしながら入浴され、楽しんで入浴していただけるよう心掛けている。入浴日に関しては、職員人数や体制の関係で固定で決めている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員人数や勤務体制により、入浴の時間や曜日を固定して実施しており、その時間帯の中でも本人の好きな順番を出来る限り提供している。今後も可能な限りそれぞれの好みや希望に合わせ、入浴を楽しめるよう努めたい。

33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の生活習慣に沿いながら、臀部の状態や足の浮腫等の体調面、長時間の臥床の疲労感を考慮して日中の休養を取り入れている。夜間の睡眠状況も考慮し、常に話し合いを重ねて支援を行っている。			本人の意思により日中でも休養の時間を設けている。夜間の入眠状態によっては日中の活動量を増やす等で、出来るだけ自然に入眠出来るような工夫や配慮を行っている。しかし、昼夜逆転してしまうなど難しい面も多くあり、今後も話し合いを重ね安眠出来るようなケアに努めていきたい。
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	協力医療機関えとう森町クリニックの方で、全入居者様の内服薬の管理をし、配薬BOXに入れて施設へ届けて頂いている。内服薬の変更等あれば連絡システム等での報告で職員へ伝えて下さり、職員側も薬情との照らし合わせを行い、入居者様の様子も隨時報告するよう努めている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	協力医療機関で内服薬の管理とセットを行い施設へ届けて下さっている。服薬変更時には随時連絡があり、体調や認知症により服薬出来ない時などにも指示を下さり早期対応可能な状況が出来ている。今後も連携体制の継続を図って行きたい。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者様それぞれの楽しみや気分転換となることを提供しているが、その時々により変化するため、日々試行錯誤し支援に努めている。	・入居者の個性に合わせた支援、家族の希望を取り入れた支援を継続して欲しい。 ・ホールの天井や壁の飾りつけ等、季節感を感じられる。 ・四季を感じ取れるように行事計画を行っており、室内的装飾作りも入居者と一緒に行われ、一人ひとりの楽しみ方への配慮がなされている		入居者様の個性や感性を活かしながら、五感に刺激を受け楽しめるレクや行事を企画・実施している。壁や天井の装飾も、四季を感じられるよう季節ごとに変え、装飾品の工作・飾りつけも一緒にに行っている。今後も入居者様の楽しみや気分転換になるような支援を試行錯誤しながら提供して行きたい。
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族同行での外出や、行事での外出、個別レクでの外食や買い物など、ご家族様の協力や勤務の調整を行なながら、外出支援ができる。しかし職員対応での突発的な外出支援は難しく対応できていない状況。	・外出は事故等のリスク・職員の負担が生じるが、入居者にとって身体的・精神的な健康へと繋がるため継続して欲しい。 ・外出レクはリフレッシュになるため、今後も支援を続けて欲しい。 ・一人ひとりに合った外出支援をしっかりと計画し、サービス向上に繋がっている。		今年度は積極的に行事に外出を取り入れたり、「ふれあいサロン」への参加も行っており外出の機会を増やす事が出来た。突発的な外出支援については対応が中々厳しく、ご家族様の協力により実施出来ている状態のため、今後の課題となっている。次年度も事前に綿密に計画を立て、勤務調整しながら外出支援を増やして行きたい。
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	大半の入居者様は、事務所にて金銭管理している。希望や認知症の症状により、個人でお金の管理をできる方にはご家族様了承の下、個人で所持して頂いている。施設前の自販機で購入したい時にジュース購入したり、外出レクでは出先で買い物出来るよう支援を行っている。			施設前の自販機でジュースを購入する以外は、中々買い物を楽しんで頂く機会が少なかった。事務所で金銭管理をされている方については、欲しい物は職員が代わりに購入している現状のため、今後は一緒に外出し、自身の目で見て商品を選ぶ楽しみを得られる機会を増やして行きたい。
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人からの希望やご家族からの電話があつた時には繋げて、会話できるように支援している。毎月のお便りに出来る限りではあるが、個人がわかるように全員の写真をのせ、施設での様子をご家族へ報告している。			ご家族様から連絡があれば本人へ電話を繋いだり、本人から電話をかけたいとの要望にも対応している。稀に電話後に帰宅願望の出現などにより不穏になられる事もあるが、現状は対応可能であるため今後も支援を継続して行きたい。
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を探り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ホール・廊下には季節ごとに飾り付けを行い、四季を感じて頂き、入居者様によってホール自席に花や装飾品を置くなど居心地の良い空間を提供している。しかし、入居者様によって装飾によって不穏となる事もあるため、都度、判断して装飾の有無を考えている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	廊下やホールなどの共有空間に季節に合わせた装飾を行い、施設内生活で四季を感じて頂けるよう努めている。中には不快と感じてしまう方もおられる為、様子を見ながら施設内の環境を整え、心地よく過ごせる工夫をしていきたい。

IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)

40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	普段の様子や言葉、訴えから意向にそえるように日々考え方提供しているが、難しいもあるため、全てを提供はできない状況。ご家族の協力も仰ぎ、少しでも本人の意向にそえるように努めている。			それぞれの意向を汲み取れるよう、普段の会話や様子から思いを感じ取れるように努めているが、集団生活の中では難しい要望もあり、全てを提供出来てはいない。ご家族様に協力して頂きながら、少しでも本人の思いや願いに添った暮らしが出来るよう検討を重ね支援して行きたい。
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所時のアセスメントにより、ケアプランを作成し、個々によってケア内容を変えている。普段の様子などから、人間関係が良好になるようホールの食事位置の検討をし、本人に合った交友関係で生活できるよう、日々スタッフ間で情報共有を実施している。			施設生活を送る中で、当初のケアプランを変更する事もあり、都度職員間で話し合いを重ね、個々にあった支援が出来るよう話し合いを重ねている。ご家族様からの情報で新たな支援へと変更する事もあり、今後も本人に合った支援内容を模索していく。
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	協力医療機関、えとう森町クリニック医師や看護師がほぼ毎日訪問して下さるため、些細な変化も都度報告して、早期の対応で医療を提供することができている。支援内容の変更も早期に行えている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日のバイタル測定や様子観察から、小さな変化にも気付けるよう努めており、協力医療機関への相談などから、早期の医療対応が提供出来ている。日々変化する状態をしっかりと把握し、継続した支援を行って行きたい。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設生活の中で出来る限りの習慣にあった生活の提供をしているが、不十分なところも多くあり、課題となる部分がある。本人の生活ペースの把握を今後も続けていくこと継続している。			本人主体のペースで生活が送れるよう、施設生活の制限を考慮しながら提供するよう努めている。自分のペースを見つける事が困難な方には、職員が普段の様子から汲み取って提供するよう話し合いを重ねている。今後も継続して取り組みたい。
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所時には本人が使用していた物などを持参して頂き、持つことができている。面会時や本人の訴えによっても、欲しいものがあれば家族に依頼するなど、都度、対応し自室や身近に置き、使用できるようにしている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所時に限らず、入所後も本人やご家族様の希望があれば、居室など身の回りに馴染みの物を置いて安心出来るよう対応している。贈り物なども居室に飾り、いつでも拝見出来るよう考慮しており、今後も継続していく。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族の協力のもと、自宅等への親族との外出をすることができている。職員対応では当日の急な外出は難しいが、勤務調整等を行い、本人の希望に添えるよう外出支援している。	・今後も利用者の意向による外出支援を行って欲しい。 ・その人らしい計画となっており、満足されている事が推進会議で確認出来ている。 ・外出レクの対応は、職員一丸となって取り組んでいると強く感じる。 ・町の行事等を有効に利用し外出を楽しんで欲		全ての意向や希望に対応する事は難しい状況ではあるが、勤務人数の調整をして外出行事に参加している。ご家族様の協力で外出する機会も増えており、今後も協力を得ながら継続して行きたい。
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	洗濯物畳みなど、個々の能力によって、タオルや靴下、衣類などと、畳むものを変えて出来る範囲で行って頂いている。レクなどでも、個々の能力を考慮しながら、みんなで作業できるよう工夫し行うことを行っている。			認知症の症状やその時の体調・気分によって出来る事と出来ない事があるが、職員の支援により継続して行えている。今後も状態を見ながら支援を続け、楽しみ事が少しでも増え、役割によって生活に潤いが出来るよう、取り組みたい。
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	人間関係に配慮したホール席を工夫し、入居者様同士での会話の場を作っている。行事やおやつフレク・作業等から活動場面を提供し、日々の家事も分担し行つていただき、生き生きと過ごせるよう支援している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	集団生活の中で人間関係で色々と問題は出てくるが、都度、席の配置を変えたり職員が間にあって対応してみたりと、それぞれに合った交流の場を提供している。活動も気の合う方同士で行って頂けるよう配慮したり、会話が広がり親交がより深まるような取り組みを継続して行く。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	行事を通して町内の方との交流や、他入居者様の面会時に顔見知りの方との交流等、交流の場を設けられている。面会時にも、他家族様が顔見知り等から、交流している場面もみられており、ご家族様の協力で交流の場が増えている。	・入居者と推進会議の委員(町内会)が交流する場もあり、地域と関わる事が出来ている。 ・交流により心身の活性化がはかれるため、関わりを増やす取り組みを期待する。 ・入居者の蓄積された知恵や知識は宝物であり、人々の前で大いに活用できる場が用意されるよう希望する。		施設外での交流は特定の入居者様しか出来てないが、町内会やボランティア団体の方々が施設行事に参加協力して下さっているため、交流の場を設けられている。今後も地域交流が出来るよう、継続して協力を仰いで行きたい。
49	総合	本人は、このGHIにすることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくことができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	面会規制緩和から、地域との関わりが増え、ご家族様やボランティアのご協力により、施設以外の関わりが増えている。職員は日々の生活から不満や生活スタイルの把握をし、話し合いを重ねながら提供しており、入居者様から評価の良い感想が多く聞かれている。	・当地域の施設としての役割は看取りも含めて充分満たし、入居者及び家族の満足度、安心・安全の担保が充分あると強く感じる。 ・地域交流も出来ており、地域に対して充分貢献出来ている。引き続き入居者が安心して豊かに暮らせるよう支援をお願いします。入居者がその人らしい生活を送れるようなケアの提供を望みます。 ・職員の一生懸命さが伝わってきます。今後も入居者の笑顔が増えるよ	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生きがいとやりがい・楽しみを持って、毎日を安心・安全に暮らす事が出来るよう、日々の様子観察と生活スタイルの把握・情報共有に努める。また、入居者様だけでなく、ご家族様にも安心して頂けるよう、信頼関係を構築していく。入居者様一人ひとりが「その人らしく」生活出来るよう支援していく。